序 文

本書は、2002年度より中部国際センターが名古屋市環境局の協力を得て実施することになった新規の国別特設研修コース「スリ・ランカ地方都市環境行政」について、現地の情報収集をおこなうために派遣された調査団の報告書です。

2002年10月下旬から2002年11月上旬までの派遣期間中、調査団は現地視察をつうじてスリ・ランカ地方都市が抱える環境問題を把握し、効果的な研修カリキュラムの立案に向けてスリ・ランカ国中央政府機関や地方自治体との協議を実施しました。本報告書がスリ・ランカ地方都市の環境保全に貢献する研修コースの実現に役立てば幸いです。

ここ名古屋市では今年10月に松原武久市長、Amunugama駐日スリ・ランカ大使、日野在名古屋スリ・ランカ名誉総領事をはじめとした600人以上の出席者が「スリ・ランカと日本の国交樹立50周年」を共に祝いました。このように、スリ・ランカとの関係が深い名古屋市もかつては「ゴミ非常事態宣言」をしなければならないほどゴミ問題に悩まされる都市のひとつでしたが、「チャレンジ100」というテーマを掲げて2000回を超える住民集会を重ね、市民の理解と参加を原動力に2年間で20％のゴミ削減に成功した実績を持つ「環境都市」となりました。市民の理解と参加をめぐる名古屋の経験はスリ・ランカ地方自治体関係者にとって貴重なテキストであると思います。

最後に、環境行政の観点から調査に尽力いただいた名古屋市環境局環境都市推進課の中西岳志主査、本調査団の団長として調査結果をとりまとめられた吉田充夫国際協力専門員、在スリ・ランカ民主社会主義共和国日本大使館、その他多くの関係者の方々に謝意を表わすと共に、本研修コースの実施にあたって一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2002年11月

国際協力事業団
中部国際センター
所長　荻原久義